

5 広畑ブロック

（1）地域づくりの目標

① 地域の概況

広畑ブロックは、広畑・広畑第二・八幡・大津・南大津校区からなる地域です。

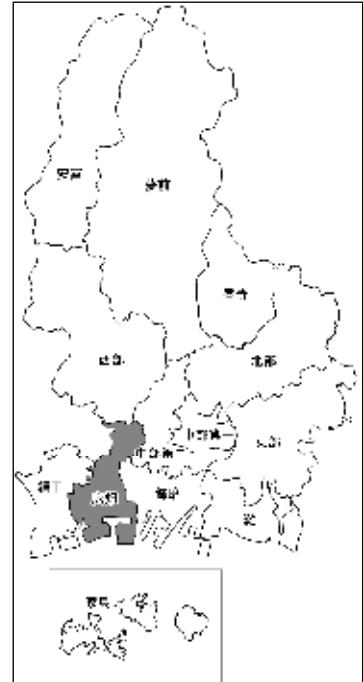
本地域は、昭和初期に建設された製鉄所と共に発展してきた街で、東西に設けられた緩衝緑地により、海側の臨海産業地域と内陸側の市街地地域に大きく区分されます。

製鉄所の操業に伴い市街化が進み、おおむね土地区画整理事業と連動した住宅地が形成されてきました。

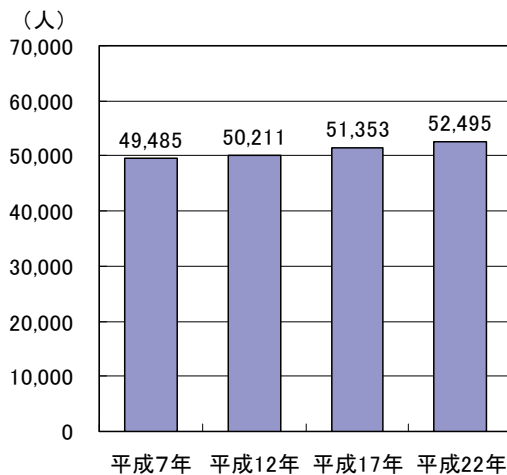
市街地地域の大部分で土地区画整理事業が完了していることから、道路等の都市施設が整った市街地が形成されています。しかし近年では、社会経済情勢の変化により企業関連の土地利用転換や更新が行われています。

臨海部では、「ひょうごエコタウン構想」の主要事業である廃タイヤガス化施設が整備されるなど、循環型社会の構築を先導するモデル地域として発展してきました。

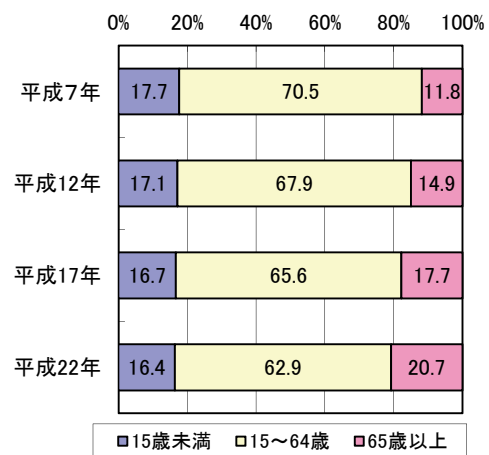
また、近年においては、三次救急医療を担う製鉄記念広畑病院姫路救命救急センターが開設され、救急医療体制の充実が図られています。



■ 人口の推移



■ 年齢3区分別人口の推移



② 地域づくりのテーマ

新しい魅力をつくる生活都市

③ 地域づくりの目標

◇ 循環型社会を先導する産業空間づくり

広畑の発展を支えてきた既存の産業基盤・物流基盤を最大限に活用しながら、循環型社会の構築を先導する産業の振興を目指します。

◇ 新しい魅力を備えた生活環境づくり

道路、公園等の都市施設の整備に加え、住宅、商業、行政、文化、医療、福祉等の多様な用途が集積し、より身近なところで日常生活が出来るような、新しい魅力を備えた生活環境の創出を目指します。

◇ 快適で安心して暮らせる住宅市街地づくり

歩行者のための安全な道路空間の確保や身近な自然とふれあえる緑豊かな都市空間の創出など、都市施設が整い快適で安心して暮らせる住宅市街地の形成を目指します。



製鉄記念広畑病院姫路救命救急センター



夢前川の川まつり

（2）地域づくりの方針

① 拠点等

ア 地域核

- ・山陽広畑駅周辺地区を位置付けます。
- ・地域の拠点として、商業・業務機能の充実を図るとともに、行政・文化・医療・福祉施設等の集積と有機的な連携を図ります。

イ 歴史街道軸

- ・本地域を通る浜街道や室津道の古道を歴史街道軸として位置付け、街道沿いを中心に散在する歴史文化遺産を保存、活用するとともに、住民が快適な環境の中を安全に歩き、日々の生活にゆとりを感じることができる歩行者軸の形成を図ります。

② 土地利用

ア 商業系

- ・山陽夢前川駅・広畑駅・天満駅・平松駅周辺を商業業務地とし、公共交通の利便性等にも配慮しながら、商業施設や生活利便施設を誘導します。

イ 工業系

- ・緩衝緑地以南の臨海工業地では、姫路港広畑地区において、環境・リサイクル産業の集積を図ります。
- ・生活環境影響調査を実施し、周辺の住環境への影響や道路交通への影響等について支障がないと認められる廃棄物処理施設等については、その土地利用を図ります。

ウ 住宅系

- ・商業地及びその周辺の複合住宅地では、鉄道駅周辺の利便性を生かした中高層住宅地の形成を図ります。
- ・中低層住宅地として良好な住環境を備えた専用住宅地の形成を図るとともに、京見山等の丘陵の麓に位置する住宅地では、自然環境と調和した緑豊かな低層住宅地の形成を図ります。
- ・山陽電鉄の南側の複合住宅地では、適切な土地利用を通じて良好な市街地の形成を図ります。

エ 保全系

- ・京見山等の市街地を取り囲む丘陵は、良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。

③ 都市施設

ア 交通

ア) 公共交通

- ・山陽広畑駅については、外環状道路を中心とした環状バスの段階的な導入を踏まえて、駅舎の近代化や駅前広場の整備等を検討します。
- ・山陽電鉄網干線については、現状のサービス水準の維持を図るため、沿線住民とともに活性化に取り組みます。

イ) 道路

- ・播磨地域におけるものづくり力の強化や防災・減災機能の強化、広域交流の円滑化を図るため、播磨臨海地域道路網の早期実現を促進します。
- ・環状放射道路を構成する夢前川右岸線、国道2号線（姫路バイパス）及び海岸線（国道250号）並びに広畑幹線等からなる幹線道路網の形成を図ります。また、将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画道路について、廃止を含めた見直しを行います。

ウ) 自転車利用環境

- ・環境負荷の小さい交通手段等として自転車の利用を促進するため、山崎線における自転車レーンの整備を推進するなど、歩行者と自転車が共存した安全で快適に通行できる空間の確保を図ります。

イ 公園・緑地

- ・将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画公園・緑地については、廃止を含めた見直しを行います。また、身近に利用できる都市公園の整備を推進します。

ウ 下水道・河川

- ・都市化の進展に伴う雨水流出量の増大と集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、計画的な雨水排水施設等の整備を図ります。
- ・二級河川である夢前川については、河川整備計画等に基づき、計画的な河川改修や適切な維持管理を促進します。

④ 防災

- ・地域防災拠点として広畑支所、広畑中学校を配置するとともに、各小学校をコミュニティ防災拠点として配置します。これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- ・避難対象地区では、南海トラフ地震が発生した場合に津波による浸水被害が想定されるため、地域住民等が参画した津波避難計画を策定するとともに、津波避難計画に基づく避難場所や避難路の確保を図ります。
- ・津波接近時の安全対策として、災害時要援護者や救助活動に従事する者等が緊急的に

一時避難するための津波避難ビルの確保を推進します。

- ・ 広畑区本町周辺においては、老朽化した木造家屋が密集し、地震発生時の建物倒壊や延焼危険度が高いため、都市計画道路の整備や生活道路の拡幅とともに、地域住民との連携により建築物の建替え、耐震・不燃化を促進するなど、安全な市街地環境への改善を図ります。

⑤ 景観

- ・ さくらの名所ともなっている夢前川については、桜並木の保全や水辺環境の適切な維持管理により、魅力ある都市景観の形成を図るとともに、サイクリングロードや散策路、川まつりの場等として活用を図ります。
- ・ 景観形成上重要な建造物については、その保存、修復を図るとともに、まちづくりの中での活用を図ります。



土地利 用		凡 例		
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路	主要公園・緑地・墓園
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	歴史街道軸	一級・二級河川
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	JR線	水辺
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	山陽電鉄	自転車レーン等整備路線

■ 広畑ブロックの将来像

第5章 地域の将来像
（地域別構想）